

<p>2 現行授業の目標と教育効果及びそれに対する自己評価</p> <p>(記述式：900字以内)</p>	<p>知識に偏りがちにならないように、実習と講義の連携を図るとともに、自力で栽培できるスキルを付けさせたい。また花きや施設園芸では技術の進歩が早い点や社会情勢の影響を受けやすいので、専門知識だけでなく、社会情勢と講義内容との関係も学習させたい。</p> <p>本年はほとんど未達成なので、講義や実習内容を見直して次年度を迎えたい。</p>																				
<p>3 学生による授業評価も踏まえ、教育改善への取り組み</p> <p>(記述式：900字以内)</p>	<p>花き園芸学では教科書を分担して学生に発表させる形式を取った。学生からもそれを評価する記述もあった。しかし元の教科書のレベルが高いと思われたので、次年度は教科書を変更することとした。</p> <p>施設園芸学では技術の進歩が早く、最新の情報が求められるため、パワーポイントでできる限り最新の情報の提供に努めた。パワーポイントで図表、画像を多用する説明は概ね評価されていた。次年度以降も最新の情報にアップデートされたパワーポイントの作成に努めたい。</p>																				
<p>4 教科書、教材の作成状況</p> <p>(記述式：300字以内)</p>	<p>パワーポイントを印刷したものを配布。一部空欄として、講義中の集中力を高めようとしている。</p> <p>また現物が用意できる物は用意して、講義中に取り見て触れるようにしている。</p>																				
<p>5 学生の指導(課外活動・厚生補導等)</p> <p>(主要10件以内)</p>	<table border="1"> <tr> <td>2017年～</td> <td>ラグビー部顧問</td> </tr> <tr> <td>2017年～</td> <td>アウトドアサークル顧問</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table>	2017年～	ラグビー部顧問	2017年～	アウトドアサークル顧問																
2017年～	ラグビー部顧問																				
2017年～	アウトドアサークル顧問																				
<p>6 その他</p> <p>(主要5件以内)</p>	<table border="1"> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>																				
研 究 業 績																					
<p>1 研究分野・活動</p> <p>(記述式：350字以内)</p>	<p>施設園芸、花きの栽培法</p>																				
<p>2 研究課題(今後の展開・可能性を含む)</p> <p>(記述式：350字以内)</p>	<p>光変換フィルムの花きに対する効果</p> <p>本年度はハウスの立地条件が悪く評価を実施できなかった。</p> <p>ダリア、シネンシス系スターチスの適正土壌酸度確認試験</p> <p>これまで研究データのない品目について引き続き研究を進めていく。</p>																				

3 研究助成等 (主要 5 件程度)	(1) 文部科学省科学研究費 なし				
	(2) 学内 なし				
	(3) 学外 なし				
4 資格・特許等 (主要 3 件以内)	品種育成 デルフィニウム「シーオーワン」2000				
	品種育成 いちご「けんたろう」2004、「きたのさち」2009				
	品種育成 ゆり「きたきらり」2005、「ピカリ」2007、「きらりゴールド」、「きらりレモン」、「きらりマジック」2008				
著書、学術論文、作品等の名称 (主要 15 件以内)	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行又は発表 雑誌等又は発表 学会等の名称	要 約	
まちづくりのための北のガーデニングボランティアハンドブック	共著	2014. 6	北海道大学出版会	北海道における花作りの基礎について項目立てて説明した	
北海道における空調機器の施設園芸への利用	単著	2012. 12	農業電化協会	北海道における空調機器の施設園芸への利用状況を記述した	
北海道施肥ガイド2010	共著	2010. 3	北海道農政部	花きに関する部分を担当した	
カーネーションを作りこなす	共著	2010. 5	農山漁村文化協会	寒冷地でのカーネーション栽培について記述した。	
北海道における水田畦畔へのグランドカバープランツ導入指針	単著	2008. 4	農業および園芸	試験例を元に水田畦畔へのグランドカバープランツ導入指針を述べた	
研究業績 (過去3カ年分)					
著作数	論文数	学会等 発表数	その他	国際的活動 の有無	社会的活動の 有無
0	0	1	0	有	無
学 内 運 営 業 績					
1 役職、各種委員会等 (主要 10 件程度)	2017年～ 入試広報委員会委員				
	2017年～ 拓殖大学北海道短期大学研究紀要編集委員				
学 外 活 動 業 績					
1 本学以外の機関(公的機関・民間団体等)を通しての活動 (主要 10 件程度)	2000～2015・2017 北海道花卉振興委員会 北海道鉢花品評会審査員				
	2013～ 農業電化協会 農業電化コンクール表彰候補選考委員会委員				
	2014～ 北海道経済部 地熱温泉熱アドバイザー				
	2017～ 一般社団法人北海道エコ普及環づくり協会理事				
	2014～2016 JICA 草の根技術協力事業(再生可能エネルギー(地中熱)省エネ施設園芸による野菜生産技術支援事業:モンゴル)				
	2018～ 北農会有機農産物検査・認証センター公平性委員会委員				
2 学会・学術団体等の活動 (主要 10 件程度)	2011. 2～ 北海道養液栽培研究会 運営委員				
	園芸学会会員				
	日本生物環境工学会会員				
	日本養液栽培研究会会員				
	北農会会員				
北海道園芸研究談話会会員					
北海道花き懇話会会員					